

令和 6 年 12 月 25 日

報道機関 各位

【令和7年1月7日(火)受賞報告会を開催】  
全国の大学・高専 36 研究室の頂点に輝く快挙！  
「SEMICON Japan 2024」で最優秀賞を受賞

◆本件のポイント！

- ・自然科学研究科の研究室が半導体国際展示会でプレゼンテーションを行い、最優秀賞を受賞。全国の大学・高専 36 研究室の頂点に輝く快挙です
- ・半導体のひとつ、「酸化亜鉛」のイノベーションに繋がる研究成果を発表
- ・以下のとおり、受賞した研究室より本学大谷学長へ、受賞報告会を開催します

◆本件の概要

島根大学 自然科学研究科の藤田・吉田研究室(大学院生 3 名、学部生 1 名、教員 2 名)が、令和 6 年 12 月 11 日から 13 日にかけて開催された半導体国際展示会「SEMICON Japan 2024」内の特別企画「アカデミア Award 2024」にて、半導体に関する研究成果についてプレゼンテーションを行い、「アカデミア Award 最優秀賞」と「SUMCO 賞(スポンサー賞)」を受賞しました。

地方大学でありながら、全国の大学・高専の 36 研究室の中の頂点に輝く快挙です。

については、受賞した藤田・吉田研究室より本学学長への受賞報告会を開催いたしますので、報道機関の皆さまにおかれましては是非お越しくさせていただきますよう、ご案内いたします。

◆受賞報告会の概要

日 時 令和7年1月7日(火)11時より

場 所 島根大学松江キャンパス 本部棟3階 特別会議室

出席者 学長 大谷 浩

理事 増永 二之

自然科学研究科長 伊藤 文彦

自然科学研究科 藤田 恭久 教授ほか藤田・吉田研究室メンバー

◆プレゼンテーションの概要

「酸化亜鉛薄膜・ナノ粒子による破壊的イノベーションと社会実装」

ベビーパウダーとして使われている酸化亜鉛は様々な用途に利用できる不思議な半導体です。

藤田・吉田研究室では、酸化亜鉛の単結晶薄膜技術に加えて、世界発のナノ粒子塗布型発光ダイオードや抗がん剤への応用など半導体材料と製造プロセスの破壊的イノベーションに繋がる研究を行っています。

プレゼンテーションでは、これらのシーズを基に大学発ベンチャーを起業し、社会実装と地方からのイノベーションの発信を目指したユニークな取り組みについて紹介しました。

技術の革新性を社会実装するアイデアや、グローバルに活躍できる人材育成への取り組みが評価され、今回の受賞となりました。

◇「SEMICON Japan 2024」特別企画「アカデミア Award」について

<https://www.semiconjapan.org/jp/workforce/academia-award>



◆本件の写真(表彰式の様子)



◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

(プレゼンテーションの内容等に関すること)

島根大学 自然科学研究科 教授 藤田 恭久(ふじた やすひさ)

電 話:0852-32-6257

メール:fujita[at]riko.shimane-u.ac.jp

(受賞報告会に関すること)

島根大学企画部企画広報課

電 話:0852-32-9729

メール:gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp



【添付資料: あり( 枚) なし】